たけうまファンド

2022年5月31日基準

運用実績

1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	年初来	設定来
-5.6%	-3.4%	-10.5%	2.1%	-10.8%	1238.0%

※ 証券口座現在の資産残高基準。投資信託、iDeCo、仮想通貨、FX（外貨証拠金取引）は含まず。
※ 過去の実績データがない期間においては数字を未記載としています。

ポートフォリオ構成

実質株式保有比率		86.3%
	国内株式	50.2%
	海外株式	36.1%
現金（円・ドル）		14.0%

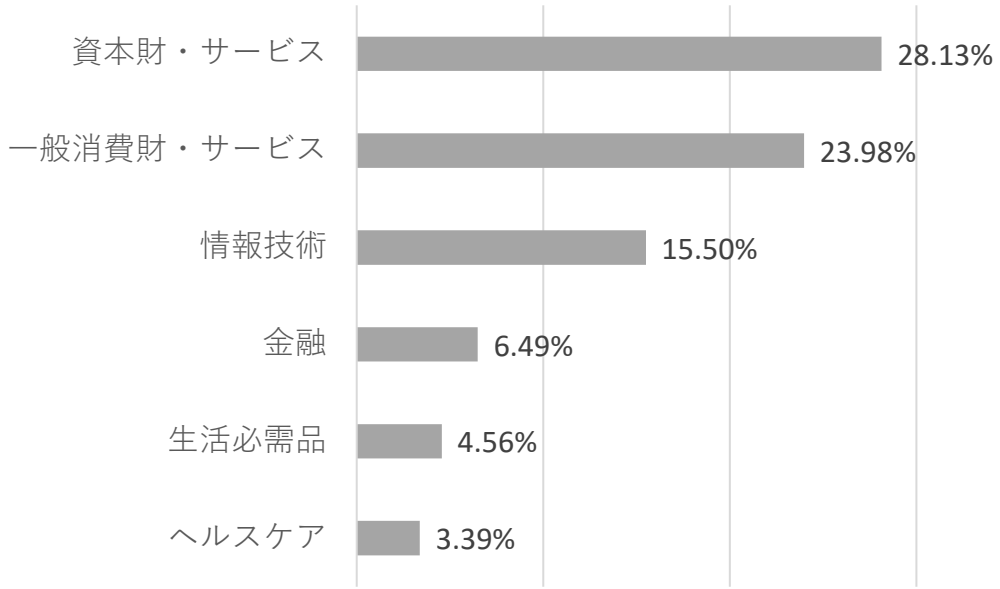
※比率は証券口座の現在の資産残価に対する割合

分配実績

設定来累計分配金　0円

※上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。
※成長ないので分配なし。

業種別組み入れ比率



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）によるものです。
※ 優待株は含まず。

たけうまファンド

2022年5月31日基準

たけうまファンドの組み入れ銘柄の状況

組入上位10銘柄

	銘柄名	比率 業種	銘柄紹介
1	ウルトラファブリックスHD（4235）	17.84% 一般消費財	湿式合皮製造販売。従来からのSDGs加速にコロナ後の感染対策、テレワーク需要で成長一段階上へ。
2	ServiceNow, Inc.（NOW）	10.71% 情報技術	ITSM主力のSaaS。業務の自動化、DXは生産性向上に資するため人手不足・高インフレ下でも需要大。
3	シンメンテHD（6086）	8.41% 一般消費財	飲食店厨房メンテからコロナ禍経て他業種へも拡大。人手不足と感染対策とコスト削減を解決する。
5	オカダアイヨン（6294）	7.33% 資本財	解体用アタッチメント。建替え、電炉、バイオマスなどで市場拡大。今期が設備投資のピーク。
4	ドラフト（5070）	6.52% 資本財	オフィスやSC、都市開発のデザイン。社長や優秀な人材が競争力。新しい生活様式での需要拡大期待。
6	MSCI Inc.（MSCI）	6.49% 金融	指数を開発販売。株価指数の提供だけにとどまらず、ESGやファクター含めマルチアセット市場狙う。
9	Tapestry, Inc.（TPR）	6.14% 一般消費財	コーチやケイトスペード擁する婦人アパレル製造販売。経営危機から復活再生中。コロナ明けに期待。
8	CrowdStrike Holdings, Inc.（CRWD）	4.79% 情報技術	クラウドからスタートしたエンドポイントセキュリティ企業。顧客のクロスセル進み高い営業効率。
10	The Procter & Gamble Company（PG）	4.56% 生活必需品	パンパース等超有名ブランド多数。店舗棚を確保できる強力なブランドだけ残す戦略で更に強くなった。
10	ベネフィット・ワン（2412）	3.85% 資本財	福利厚生アウトソーシング。既存客法人への経費精算などHR分野でのアップセルを狙う。

※ 上記は組入銘柄の紹介を目的としてたけうまが作成しており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

たけうまファンド

2022年5月31日基準

ファンドおよびマーケットへのコメント

5月はとても苦しい1か月となりました。ファンドの成績もとうとう年初比で2桁のマイナスとなってしまい、あまりの不甲斐なさに忸怩たる思いです。

振り返ると大型連休中にFOMCがあり翌日こそよかったものの、そこから米国株、特にナスダックの崩壊が始まりました。月末が近くなってきてやっと米国マーケットは落ち着きを取り戻してきたように思いますがまだまだ油断はできない情勢です。その間の日本株はというと円安のサポートもあり、指数はともかく個別では堅調な展開が続いていました。当ファンドも全体的な状況で見れば同様の傾向となっています。

それではこの不甲斐ないパフォーマンスの原因はというとUFHDとドラフトの決算ミス、それとクラウドストライクの他の銘柄からの連れ安。これだけです。といいますか前月比で大きく下落している銘柄がこれだけなんです。その他の銘柄は上昇しているか変わらずの推移です。UFHDは一時的な費用増もあり利益の進捗状況が悪く、ドラフトも計上される利益が少なかったものの案件の進捗は問題ないとのこと。どちらも決算後の安くなったところで買い増しを行っています。次の四半期決算に期待したいところですね。

取引としては先のUFHDとドラフトの買い増しの他ではXLEの売却と牧野フライス製作所を行いました。XLEは米国スタグフレーション懸念で需要が減るんじゃないか、というタイミングで売ってしまい若干の安売りになってしまいましたが、タイミング的にはANYCOLORのIPO応募資金にも充当できたので問題はなかったかなと。IPOは外れましたが。牧野フライスは月末に買い始め、当レポート執筆時には買い増しも終わっているため、このままであれば来月からはポートフォリオに名前が出てくるようになります。

これ以外に4月に開設した信用口座で短期売買を繰り返すようになって、5月も中旬まではほぼ連戦連勝だったのが、それ以降勝てなくなり執筆時点の6月3日にやらかして4月から積み上げてきた利益を全部吐き出してしまいました。「勝って兜の緒を締めよ」とはよく言ったもので、完全に調子に乗っていました。確かに中旬までは下落トレンドが鮮明でかつ決算期で動いている銘柄もありうまい事取れていましたが、それ以降は徐々にマーケットが細って底打ち感も出てきて方向感がなくなる中それまでと同じ様にやっていて最後に大きいやらかし。従来通り余剰的な枠としてイケるイメージが持てるタイミング・銘柄に限定して使うよう厳しく制限していく方針を明確にしました。パフォーマンスの悪化が止まらず負けが続くとだいたい余計なことをして傷を大きくしがちなので、このような愚行は繰り返してはなりません。反省。

うまくいかなかったことばかり書いても暗くなってしまうので、逆にうまくいったことと言えば大型連休前の少し上がった日に穀物ETFを売却できたことでしょうか。連休後まで伸び続けましたがそこから急速に勢いを失い天井を付けた感があります。同様に売却した原油ももうぼちぼちいい頃合いで、インフレ防御的なポジショニングでいるのも終わりでは…なんて思っているんですが、どうでしょうか。

※ 今後の見通しと運用方針は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります

たけうまファンド

2022年5月31日基準

ファンドおよびマーケットへのコメント

確かに資源関連を持っていればインフレへの安心感もありますが、一方で安いうちにこの先のリバウンド・上昇相場で戦える銘柄を買っておきたい、という動きも出てくるはず。牧野フライス製作所はそういう考えで購入に至りました。工作機械銘柄を買うのは太陽工機以来でしょうか。上がってくれるといいのですが。

まだまだ2022年も始まったばかりのつもりでいましたが、気が付いたらもう6月。今月が終われば今年も折り返しです。一足飛びにプラス圏に浮上なんていうことは期待していませんし狙ってもよくないですが、せめて5月が今年のボトムになることを願うばかりです。

※ 今後の見通しと運用方針は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります